

高校1年生 保護者のための進学講演会

平成28年10月8日(土)、視聴覚室において高校1年生の保護者の方を対象に、進学講演会が開催され、天候の悪い中160名の参加がありました。

講演会内容

- I. 講演 『基礎からわかる大学入試』 進路指導部主任 永谷主幹教諭
II. 対談 113期の保護者の皆さま

はじめに鯨岡校長先生、後援会高木会長にご挨拶いただきました。

永谷先生の講演では、入学式のときにもお話があった、①毎日、学校に送り出してください。②愛情いっぱいのお弁当を持たせてください。③お金を貯めておいてください。社会人になった瞬間に400万円近くも借金を背負っている学生が増えています。という3つのお願いごとではじまり、113期の受験実態と進学実績の解説、大学入試の種類やシステムについて、両国高校の教育課程についてと高2の選択科目について、最後に高1から高2に自分の目標を定め、各科目の基礎定着を図ること、行事・部活動などで集団結束を固め「Team両国」で戦う下地を作ることのお話をいただきました。

113期の保護者の3名の方からは、「高1のときの生活について」「いつごろからスイッチが切り替わったのか」「塾には通ったか、通わなかったのか」「苦手な教科の対処法」などについての質問に答えていただき、「受験時期は長期戦となるので健康管理に留意して、子供達を見守る。」「いつもと変わらない毎日を送り、勉強してきたことを信じさせる。」「本人の望むことを聞いて、受かりたいという想いが大事。」とアドバイスいただきました。

保護者からのご意見・ご感想

- ・文理選択を考えるこの時期、子ども自身も悩んでおり、今回の情報はとても参考になった。
- ・来年度の文理選択のための情報、大学受験についての詳しい内容や実際の経験者の話は、今後のイメージ作りに役立った。
- ・今の受験についてよくわからなかったので参考になった。
- ・永谷先生のお話の内容は資料ともに分かり易く、楽しく、リズムよく大変役に立った。
- ・成功談だけでなく、大学選択を間違えたなど、進路選択の失敗談も例に挙げてもらえると思った。

